

## 第6回岡谷新校再編実施計画懇話会

日時：令和7年7月22日（火）  
午後6時から午後7時30分  
会場：おかや総合福祉センター  
3階 コンベンションホール

### 次第

#### 1 開 会

#### 2 県教育委員会挨拶

#### 3 新構成員自己紹介

#### 4 会議事項

(1) 「第5回岡谷新校再編実施計画懇話会」まとめ

(2) 校地検討部会からの報告

(3) 学びのイメージ（案）

(4) 意見交換

#### 5 その他

次回の予定

【日時】 調整中

【場所】 調整中

【内容】 学びのイメージ（案）の説明と意見交換

#### 6 閉 会

## 新校再編実施計画懇話会開催要綱

### (目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

### (会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

### (構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

### (開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

### 附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

岡谷新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

◎座長

	区分	氏名	所属等	役職等		新構成員
1	自治体	早出 一真	岡谷市	市長		
2		宮坂 享	岡谷市教育委員会	教育長	◎	
3	産業界	木下 敏彦	岡谷商工会議所	副会頭		
4		山田 昌義	(有)ニシキ精機	代表取締役社長		
5	学識経験者	広瀬 啓雄	公立諏訪東京理科大学	副学長		
6		岩間 英明	松本大学人間健康学部スポーツ健康学科	教授		
7		坪谷ニユウェル郁子	東京インターナショナルスクール	理事長		
8	地域	胡桃澤 良知	英会話学校イー・トゥー・ゼット	校長		新規
9		太田 博久	(株)太田屋	代表取締役社長		
10		笠原 新太郎	笠原書店	代表取締役社長		
11		竹花 顕宏	諏訪地域振興局	局長		新規
12	同窓会	山本 美保子	岡谷東高等学校同窓会	会長		
13		林 秀徳	岡谷南高等学校同窓会	副会長		
14	P T A	小坂 明香	岡谷東高等学校 P T A 会長	会長		新規
15		宮坂 善男	岡谷南高等学校 P T A 会長	会長		新規
16		田畑 幸司	諏訪 P T A 連合会 (岡谷市会長)	代表		新規
17	学校関係者	小林 俊男	諏訪校長会 (茅野市立玉川小学校長)	代表		新規
18		守屋 守	諏訪校長会 (岡谷市立岡谷南部中学校長)	代表		新規
19		佐藤 幸三	花田養護学校	校長		新規
20	統合対象校 関係者	齋藤 礼央	岡谷東高等学校 生徒代表	生徒代表		
21		大坪 千紗	岡谷東高等学校 生徒代表	生徒代表		
22		松原 康恭	岡谷南高等学校 生徒代表	生徒代表		
23		外山 あかり	岡谷南高等学校 生徒代表	生徒代表		
24		倉坪 崇之	岡谷東高等学校	校長		
25		中村 龍馬	岡谷東高等学校	教職員		新規
26		藤澤 雅道	岡谷南高等学校	校長		
27		中村 和幸	岡谷南高等学校	教職員		新規

【事務局】

\*新規

学校名						
岡 谷 東	*今井 盛夫 (教頭)、中村 龍馬、*能登 一葉、西澤 久美子					
岡 谷 南	藤澤 幹彦 (教頭)、*中村 和幸、奥村 達朗、*利根川 尚吾					
		所属等	役職等			
長野県教育委員会 事務局	原 多恵子	高校教育課 高校再編推進室	主幹指導主事			
	望月 ゆかり	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事			
	荻原 洋平	高校教育課 高校再編推進室	主任指導主事			

# 第5回岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ(案)

資料1

<b>日時</b>	令和7年1月27日(月) 午後6時～午後7時30分		
<b>場所</b>	おかや総合福祉センター(諏訪湖ハイツ) コンベンションホール		
<b>出席 (敬称略)</b>	早出一真、宮坂 享、木下 敏彦、山田 昌義、岩間 英明、遠藤 美千子、太田 博久、笠原 新太郎、山本 美保子、林 秀徳、田口 あゆみ、共田 武生、笠原 康弘、小口 貴一郎、山田 典史、齋藤 礼央、大坪 千紗、松原 康恭、外山 あかり、倉坪 崇之、小宮山 健司、藤澤 雅道、森澤 太平		
<b>欠席 (敬称略)</b>	広瀬 啓雄、坪谷 ニュウエル 郁子、竹花 顕宏、瀬志本 進(以上4名)	<b>傍聴</b>	5名
<b>事務局</b>	岡谷南高校	藤澤教頭(事務局長)、森澤教諭、松本教諭、奥村教諭、今井教諭	
	岡谷東高校	奥原教頭(副事務局長)、小宮山教諭、中村教諭、西澤教諭	
	県教育委員会	原主幹指導主事、土橋主任指導主事、有坂主任指導主事	
<b>当日資料</b>	次第、構成員名簿、第4回懇話会まとめ(案)、ここまで出された意見、意見交換テーマ、意見の共有		

## 会議事項

(1) 第4回岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ (2) グループに分かれての意見交換 (3) 意見の共有

## 構成員から出された主な質問・意見(要旨)

### 会議事項について

(1) 第4回岡谷新校再編実施計画懇話会まとめ

資料1～2ページについて事務局から説明。質問、意見なし。

(2) グループに分かれての意見交換

以下の2つのテーマについて意見交換(約50分間)。

テーマ1: 「前回の意見交換を踏まえて、岡谷新校ではどのような学びを展開したらよいか」

テーマ2: 「岡谷新校での学びに地域はどのように関わっていったらよいか」

(3) 意見の共有

各グループ記録係より意見交換の内容を発表、全体で共有。

○1グループ

(テーマ1)

- ・一人ひとりの可能性を伸ばすことができる学び
- ・生徒が好きなことをとことん実践し、それを将来に繋げるような学びができるという点から単位制の学び(卒業に必要な単位数は最小限に設定し、探究等の学びを多くする)
- ・地域での体験による学び
- ・「学びのデザイン」をキーワードとし、生徒自身が新しい学校を作る、何を学ぶかを自由に選択できる学び

(テーマ2)

- ・岡谷の強みといえる文化や産業などの地盤を活かしたキャリア教育
- ・岡谷について知るために中学生や高校生、企業の方などが一緒に意見交換する時間を持ち、地域や企業がどうしたら良くなるのかについて考える機会を設定(生徒と地域が互いに対話)

○2グループ

(テーマ1)

- ・机上での学びにとらわれず、様々な経験を重ねることで解決していく力をつける学び
- ・小中高で連携して生きる力、生きる基礎力の育成のためのカリキュラムの構成による学び
- ・岡谷市や県教育委員会で企画する海外交流の場を有効に活用した体験
- ・小学校での縦割り学級のような、学年や校種の壁をなくした学び

(テーマ2)

- ・地域が高校生を社会の一員として捉え、互いに関わりながら社会貢献のできる人材を育てる
- ・小中高で連携したカリキュラムをつくり、新たな学びのモデルを岡谷から全国に発信する
- ・課題探究から自身の生き方を探ることができるような関わり方を地域としていく

○3 グループ

(テーマ1)

- ・学習の選択の幅を広くし、好きなことをとことんできるような環境を整えての学び
- ・学校や校種にこだわらず、校外での活動や学習も単位として認められるような学び
- ・授業の3分の1を探究学習というような設定での学び
- ・ひとりひとりの興味関心を伸ばせるような学び

(テーマ2)

- ・学校や先生だけではなく、インターンシップを含め、諏訪を中心とした多くの人材を活用する
- ・地域の現状の課題を見据えて、まち作りという部分に生徒が関わる
- ・好きな勉強を見つけ、職業や人生に繋げていくことができる学びを通じて、その学びが地域に還元されるようにする

○4 グループ

(テーマ1)

- ・それぞれの学校の選択制やコース制をさらに発展させ、生徒が幅広い選択の中で学ぶ
- ・学年やコースという枠を超えての学び
- ・様々なことにチャレンジしながら、自分が主体となる学び

(テーマ2)

- ・地域のコーディネーターなどを活用し、岡谷について知る
- ・学校の文化祭での物品販売等で地域の特産品を扱うなどして地域と協働、連携する
- ・地域の人や生徒が関わり、学食やカフェのような新しい形態を取り入れる
- ・職員会議等に地域の方が関わり学校の方向性を考える
- ・昼食の時間帯だけでも、地域の方と関われるようなフリースペースを設ける

○全体討議 (出された主な意見)

- ・3分の1を総合的な探究の時間にするという意見は、ぜひ実現してもらいたい。
- ・課題解決の成果を実感する時間を設けてほしい。その成果を持って大学へ進学する、残された課題を持って大学へ進学するような、夢のある高校ができればいいと思う。
- ・地域の方の力も借りながら、高校のうちから自分で決める力を身につけることは、将来自分が決断する際に自信を持てることができると思う。
- ・失敗が怖くて挑戦ができないということよりも、失敗したからこそ得られたことを自分の経験としても役に立つと思う。

**その他**

**【次回】**

日時：調整中

会場：調整中

岡谷新校 再編実施基本計画に係る学校像について（これまでに出示された意見）

\*ゴシックは前回出された意見

	地域協議会からの意見・提案	再編・整備計画【三次】	第5回懇話会までに出示された意見
育てたい生徒像			<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の強みを生かして、地元を、長野を、日本を、世界をより良くして平和にすることに貢献できる人材。</li> <li>○ 大学や地域と連携した探究的な学びにより、人と人の中で自ら考え行動できる、地域から愛され、頼りにされる人物。</li> <li>○ 地域を愛し、地域に誇りを持ち、いずれ地元に戻ってきて活躍する生徒を育てたい。地元の良いところをしっかりと伝えることが大切。</li> <li>○ 何か一つ目標を持って頑張った経験のある生徒。</li> <li>○ 生きる目的、学ぶ目的をしっかりと持ち、それが将来につながり、社会に生きる力を培うことができる生徒。</li> <li>○ 自分の夢を求めていく意欲や主体性を持った生徒。</li> <li>○ <b>失敗が怖くて挑戦ができないということよりも、失敗やエラーの繰り返しの中から学び、失敗したからこそ得られたことを自分の経験として、チャレンジを重ねていく生徒。</b></li> </ul>
目指す学校像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の子どもたちはもとより、探究的な学びや分野最先端の学びが可能な、他地域の子どもたちにとっても魅力的な学校</li> <li>○ 諏訪地域の歴史・伝統についての学び、地域や世界の課題解決を考える学び、文化芸術分野やスポーツ分野など幅広い学びが可能な学校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践的な英語力を共通のベースに探究する単位制高校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が自分のやりたいことを選び、それぞれの道に進んでいけるような高校。多様な選択ができる学校。</li> <li>○ 地域の学校として、地域との結びつきが強く、多様なニーズに応えることのできる学校。</li> <li>○ 進学や就職など生徒の希望に沿う科目選択や先生方の厚いサポート体制など多様性のある新校にしてみたい。</li> <li>○ 生徒の可能性を伸ばすことができる学校、入学後に様々な面でその生徒に合った教育が受けられ、潜在力を大きく伸ばすことができる学校。</li> <li>○ 地元や他地域からも選ばれる、偏差値による輪切りで選択されることのない特色ある普通科高校。</li> <li>○ <b>新たな気づきが得られる学校。課題解決の成果を実感できるとともに、更なる課題意識をもって、大学進学するような夢のある高校。</b></li> <li>○ チャレンジを認めている学校。</li> </ul>
学び・カリキュラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分の希望がかなえられる多様なニーズに対応した学び</li> <li>○ 諏訪地域の歴史や伝統文化、地域の産業、豊富な観光資源等の地域の魅力についての学び</li> <li>○ これからの諏訪地域を支える医療、福祉、行政、教育等の担い手の育成につながる学び</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の多様な進路希望や興味関心に応じた科目選択や入学年度を超えた学びあいなどを可能にする単位制を導入</li> <li>○ 地域の特色あるスポーツや地域活動にも積極的に取り組むことができるカリキュラム</li> <li>○ 実践的な英語力を共通のベースに、地域の課題をグローバルな視点で探究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校生のうちから、主権者として、地域づくり、社会づくりに関わられるような教育内容にしてほしい。</li> <li>○ 一人ひとりの生徒の個性を引き出し、それを進路選択に繋げていくような教育内容を考えてほしい。</li> <li>○ 「グローバルな視点、ローカルな学び」に魅力を感じる。</li> <li>○ 両校の良さを活かしながら、英語や情報について深く学べるような学校。</li> <li>○ 探究以外にもうひとつ特色がほしい。</li> <li>○ いろいろな選択肢を持たせて多様な学びや、好きなことをとことん追求できる学びをしていくために、単位制の高校がよいのではないか。</li> </ul>
地域連携・シーム		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域との共学共創プラットフォームの構築や地域連携協働室の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高校の出口も意識しつつ、生徒の自主性を最大限大事にした学校。そのために、社会や地域の小中学校との連携という視点も大事にできるとよい。</li> <li>○ 新校にも岡谷東高校で組織されているPTSに地域を加えてPTSC&lt;Parent（保護者） Teacher（先生） Student（生徒） Community（地域）&gt;とし、学校運営に参画する組織を作りたい。</li> <li>○ 地域資源を用いて地域と連携して学び、それを自分の武器にして進路を実現できるとよい。</li> <li>○ 地域の方々を学校に呼び込む、学校から地域に出ていく、これを両輪とした「ひらかれた学校」になるとよい。<b>地域の方の力も借りていく。</b></li> </ul>
学びの環境・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的な学びによって自己の可能性を広げる</li> <li>○ 多くの仲間たちと切磋琢磨できる規模の大きな学校</li> <li>○ 留学や国際交流を通じて国際感覚を養う学びの機会をより一層取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 留学生の積極的受け入れなどによる国際感覚を醸成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障がいのある子どもが共に学ぶ、インクルーシブな学校。</li> <li>○ 学びの土壌づくりが大切。</li> <li>○ 地元に着定するようにするために、地域のことを教えらる先生・教育が必要。</li> <li>○ 教育移住という観点からも考えてみたらどうか。</li> </ul>

# 学びを選び、みらいを選びとる自立した学び手を育てる高校

## 育てたい生徒像

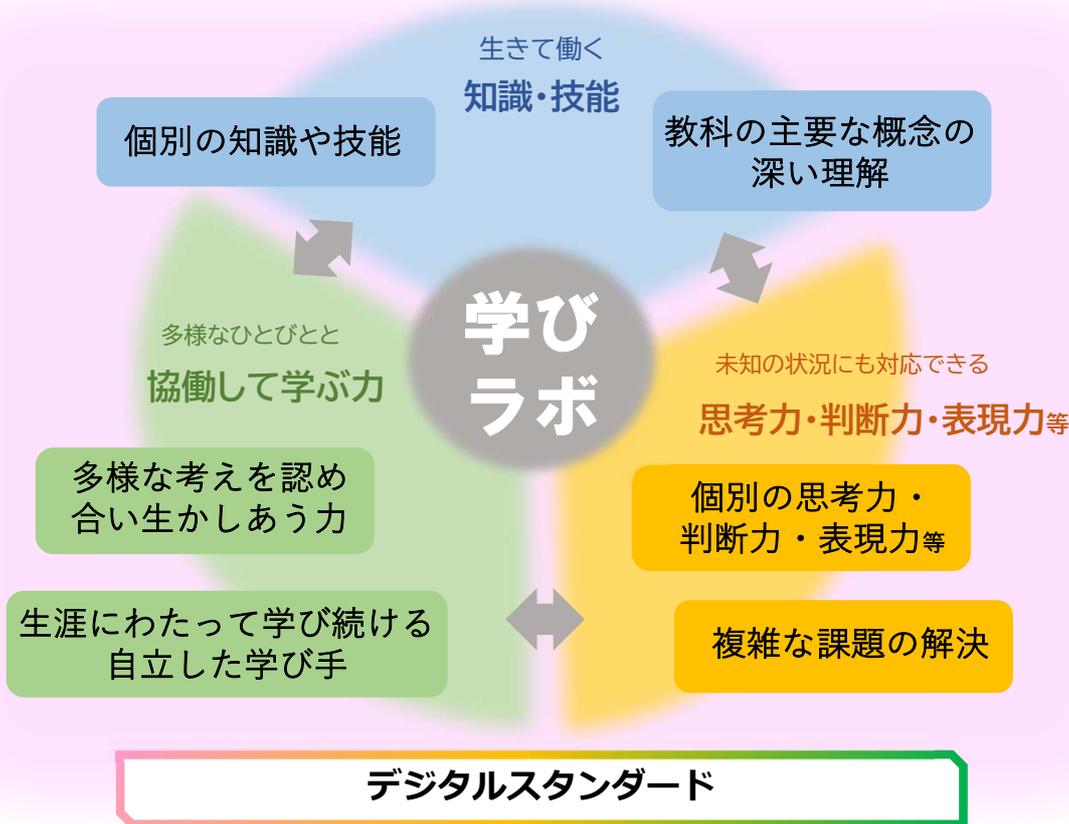
- 多彩な視野で物事を見、豊かな発想と確かなジブンをもって自己の生き方をフレキシブルにデザインできるひと
- 地域の歴史や風土を理解するとともに様々な人々との関わりを通じて、お互いの価値観を認めながら、生涯にわたって学び続けることができるひと

## 目指す学校像

- 多様な学び方を通じ、生徒が自らの生き方・あり方を探しつつ、個々の価値観を認めあえる学校
- 興味や関心を深める探究的な学びの中で、成功だけでなく挑戦を評価する、生徒が安心して試行錯誤できる学校
- 地域の資源を生かした学びの連続性を通して、他者と協働しながら将来と地域・社会のみらいを創造できる学校

## 多様に結びつく学び

### 学びを選び、みらいを選びとる力



**= 探究 =**

- ・多角的な視点をもって様々な課題に目を向け、他者と協働して学びあいながら、イノベーション創出に貢献できる知識と行動力を育む
- ・地域連携を通じて岡谷諏訪地域全域を舞台に、探究し、発信できる力を育む
- ・探究的な学びを深めるための、確かな学力をつける（OKAYA+の活用）

**学びの共創**

市町村	諏訪広域連合	公立諏訪東京理科大学
各種学校（幼保小中高大）	産業界	おかやのまちじゅう学園 県福祉大学校